



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

東

上場会社名 株式会社アール・エス・シー

上場取引所

コード番号 4664

URL <http://www.trsc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 宏夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 山口 規

TEL 03-5952-7211

定時株主総会開催予定日 2025年6月27日

配当支払開始予定日 2025年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,845	9.2	301	6.0	310	3.4	187	△23.6
2024年3月期	8,097	34.3	284	48.5	300	51.2	245	91.4

(注) 包括利益 2025年3月期 207百万円 (5.0%) 2024年3月期 197百万円 (26.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	64.97	—	8.8	7.4	3.4
2024年3月期	84.05	—	12.4	7.1	3.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,160	2,178	52.4	763.24
2024年3月期	4,201	2,057	49.0	704.84

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,178百万円 2024年3月期 2,057百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	22	22	△163	1,332
2024年3月期	325	43	△157	1,452

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00	49	23.8	2.9
2025年3月期	—	7.00	—	17.00	24.00	68	36.9	3.3
2026年3月期(予想)	—	7.00	—	17.00	24.00		34.5	

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,907	△23.1	95	△61.1	94	△62.5	54	△66.6	18.76
通 期	8,300	△6.2	300	△0.3	300	△3.3	205	9.6	71.23

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) (株)クリーンフォース、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年3月期	2,940,000株	2024年3月期	2,940,000株
2025年3月期	86,974株	2024年3月期	22,186株
2025年3月期	2,877,780株	2024年3月期	2,912,840株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,924	21.5	204	65.9	245	68.6	169	15.7
2024年3月期	5,701	1.9	123	△32.6	146	△25.2	146	9.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	58.64	—
2024年3月期	50.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,444	1,740	50.5	609.81
2024年3月期	3,445	1,655	48.0	567.13

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,740百万円 2024年3月期 1,655百万円

2. 2026年3月期の個別業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,031	△23.8	91	△49.8	64	△52.2	22.24
通 期	6,400	△7.6	240	△2.2	167	△1.0	58.03

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、年度末に米国の関税引き上げへの警戒感があったものの、賃上げの広がりや定額減税等の各種政策効果による雇用・所得環境も改善傾向が継続しており、インバウンド需要の継続的な拡大、日経平均株価の高水準での推移等により緩やかな景気回復の傾向が見られました。一方、世界経済は、今後、米国の関税引き上げにより米国・中国経済の悪化が景気の下押し圧力となることが懸念されます。また、長期化するウクライナ・中東情勢の緊迫化等による世界情勢不安、欧米における高い金利水準の継続等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、コロナ禍から回復し都市再開や大型イベントが増加しており、災害対策の強化や匿名・流動型犯罪グループによる犯罪の増加から安全への意識は非常に高くなっております。また、物価上昇における建築資材等の原材料価格の高騰に加えて、少子高齢化による労働人口の減少および賃上げの広がりを受け、業界における有効求人倍率の高止まり状況が継続しており、雇用環境は引き続き厳しく、慢性的な人材不足の状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「信頼されるサービスの提供」を目指した経営姿勢のもと、中期経営計画の目標達成に向けて、当社の事業の根幹となる成長投資として人的投資を実施するとともに、業務のDX推進のため、AI警備システムおよび清掃ロボットの導入等を推進するとともに、清掃事業の拡大ならびに業務品質の向上を目的として株式会社クリーンフォースの全株式を取得いたしました。また、事業を通じ継続的な雇用を創出し、地域社会の安全・安心なインフラの提供を行い、持続的な社会への価値提供の実現を目指すことを念頭に、サステナビリティ経営を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は88億4,477万円（前年同期比9.2%増）となり、利益面につきましては、経常利益は3億1,014万円（前年同期比3.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、1億8,697万円（前年同期比23.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

建物総合管理サービス事業

建物総合管理サービス事業につきましては、警備部門においてAI警備システムの導入実績として、サンシャインシティプリンスホテルにおける警備業務の受注、大型複合施設サンシャインシティでの本格運用が開始となり、Hareza Towerでは実証実験を開始いたしました。また、新規受託案件として都内最大の延床面積を誇る物流施設の常駐警備業務を開始し、丸の内エリアならびに池袋エリアにおいて屋外イベントの開催等臨時業務の受注が拡大いたしました。清掃部門においては千代田区エリアで新規事業所が業務開始となり、各営業拠点における巡回清掃業務も順調に拡大しております。設備部門においては大型家電量販店の昇降機設備等のリニューアル業務、学校給食センターの設備機器の修繕業務等、多数の臨時案件を受注いたしました。工事部門においてはサンシャインシティのシャッター改修工事、既存先事業所においては駐車場システムの更新、非常用発電設備の更新および専有部フロアのレイアウト変更ならびに区画分割に伴う内装工事、店舗改装に伴う消防設備等の更新工事等多数の大型工事を受注いたしました。グループ会社においては、RSC中部の飛島コンテナ埠頭警備業務受注をはじめ、警備業務および清掃業務が順調に推移しておりますが、友和商工における内装工事の需要減少により前年同期比ではマイナスとなりました。

利益面におきましては、既存先事業所における契約金額の改定、従業員の離職防止、事業所の安定運営を積極的に取り組んでまいりました。また、修繕工事等の受注時においては、安全管理、工程管理等を徹底するとともに、適正価格による受注を推進してまいりましたが、売上高と同様にグループ会社における需要の減少が大きく影響しました。

この結果、売上高は68億7,893万円（前年同期比4.2%減）となり、セグメント利益は6億2,614万円（前年同期比6.9%減）となりました。

人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、官公庁の長期案件の満了等に伴う減収が見込まれる中、臨時の大型イベントプロモーション業務について、期初の見込に対し仕様変更により大きく伸長し、売上高、利益ともに目標を大きく上回ることができました。また、新規および既存顧客先への提案を展開することにより、医療施設の電話交換業務および施設イベント運営業務等の臨時案件を受託いたしました。併せて人材確保のため、派遣スタッフの待遇改善の継続と並行し、登録スタッフの採用・教育に注力してまいりました。

この結果、売上高は19億6,583万円（前年同期比114.2%増）となり、セグメント利益は1億1,865万円（前年同期比231.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、29億2,750万円となりました。これは主として売掛金等が増加したことによるものです。(なお、現金及び預金の詳しい内容につきましては9ページの連結キャッシュ・フロー計算書をご参照ください)。

固定資産は前連結会計年度に比べて3.8%減少し、12億3,216万円となりました。これは主として繰延税金資産が減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、41億5,966万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、12億3,826万円となりました。これは主として買掛金等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.3%減少し、7億4,383万円となりました。これは主として退職給付に係る負債等が減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、19億8,210万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、21億7,755万円となりました。これは主として利益剰余金等が増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物等(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて1億1,910万円減少し、当連結会計年度末には、13億3,260万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果稼得した資金は2,208万円(前連結会計年度は3億2,496万円の稼得)となりました。これは主に、売上債権の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果稼得した資金は2,265万円(前連結会計年度は4,306万円の稼得)となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億6,385万円(前連結会計年度は1億5,736万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出等によるものです。

(4) 今後の見通し

2025年度は、引き続き「中期経営計画」に基づいて、安定した財務基盤を活用し、人材確保、展開エリアの拡大、新技術の獲得、資本業務提携、M&A等を目的とした投資に前向きに取り組む持続的な成長を目指して参ります。

この取り組みにより、次期(2026年3月期)の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は8,300,000千円、連結営業利益300,000千円、連結経常利益300,000千円、連結当期純利益205,000千円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,934,230	1,767,123
受取手形及び売掛金	924,962	1,111,316
原材料及び貯蔵品	9,626	9,025
未成工事支出金	23,197	8,236
その他	29,081	33,228
貸倒引当金	△665	△1,427
流動資産合計	2,920,432	2,927,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	401,983	402,685
減価償却累計額	△284,433	△294,657
建物及び構築物（純額）	117,550	108,028
土地	351,993	351,993
その他	99,951	110,467
減価償却累計額	△85,061	△87,166
その他（純額）	14,890	23,301
有形固定資産合計	484,433	483,323
無形固定資産		
借地権	47,121	31,737
ソフトウェア	34,866	23,246
電話加入権	8,061	8,061
のれん	122,391	115,386
無形固定資産合計	212,441	178,432
投資その他の資産		
投資有価証券	148,881	155,140
長期貸付金	2,100	—
差入保証金	154,795	149,913
保険積立金	51,835	55,411
繰延税金資産	215,868	196,649
その他	9,986	13,290
投資その他の資産合計	583,466	570,405
固定資産合計	1,280,341	1,232,161
資産合計	4,200,774	4,159,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,496	390,648
短期借入金	69,900	89,100
1年内返済予定の長期借入金	154,464	122,758
未払費用	366,865	338,397
未払法人税等	77,946	45,550
未払消費税等	94,002	76,356
賞与引当金	58,066	58,450
その他	51,946	117,005
流動負債合計	1,233,687	1,238,267
固定負債		
長期借入金	222,234	168,646
長期未払金	39,175	39,175
役員退職慰労引当金	81,659	32,634
預り保証金	1,200	1,200
退職給付に係る負債	561,907	497,317
その他	4,312	4,866
固定負債合計	910,488	743,838
負債合計	2,144,176	1,982,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,000	302,000
資本剰余金	244,783	245,729
利益剰余金	1,452,275	1,581,348
自己株式	△13,063	△42,107
株主資本合計	1,985,994	2,086,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,944	48,003
退職給付に係る調整累計額	25,659	42,582
その他の包括利益累計額合計	70,603	90,586
純資産合計	2,056,598	2,177,557
負債純資産合計	4,200,774	4,159,663

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,096,894	8,844,777
売上原価	6,616,331	7,324,526
売上総利益	1,480,562	1,520,251
販売費及び一般管理費		
役員報酬	140,281	141,444
給料手当及び賞与	456,954	481,442
法定福利及び厚生費	99,197	100,804
賞与引当金繰入額	31,697	33,513
退職金	567	—
退職給付費用	11,378	9,247
役員退職慰労引当金繰入額	923	975
株式報酬費用	3,023	3,023
旅費及び交通費	39,881	42,802
消耗品費	20,133	17,294
保険料	26,760	24,913
広告宣伝費	8,715	11,849
賃借料	99,259	92,795
のれん償却額	30,597	30,597
その他	227,157	228,436
販売費及び一般管理費合計	1,196,531	1,219,140
営業利益	284,031	301,110
営業外収益		
受取利息	580	826
受取配当金	6,607	4,674
不動産賃貸料	96	96
保険金収入	589	2,900
保険返戻金	14,353	3,223
雑収入	3,505	6,109
営業外収益合計	25,731	17,829
営業外費用		
支払利息	5,135	8,104
支払手数料	—	122
解約違約金	1,204	—
固定資産除却損	3,502	—
雑損失	—	564
営業外費用合計	9,841	8,791
経常利益	299,921	310,148
特別利益		
投資有価証券売却益	72,119	956
特別利益合計	72,119	956
特別損失		
固定資産処分損	—	15,383
特別損失合計	—	15,383
税金等調整前当期純利益	372,040	295,721
法人税、住民税及び事業税	128,896	99,075
法人税等調整額	△1,692	9,669
法人税等合計	127,203	108,745
当期純利益	244,837	186,976
親会社株主に帰属する当期純利益	244,837	186,976

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	244,837	186,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,281	3,059
退職給付に係る調整額	543	16,923
その他の包括利益合計	△47,737	19,982
包括利益	197,099	206,959
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	197,099	206,959
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	302,000	243,491	1,256,886	△22,146	1,780,230	93,225	25,115	118,341	1,898,572
当期変動額									
剰余金の配当			△49,448		△49,448				△49,448
親会社株主に帰属する 当期純利益			244,837		244,837				244,837
自己株式の取得									
自己株式の処分		1,292		9,082	10,375				10,375
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						△48,281	543	△47,737	△47,737
当期変動額合計	—	1,292	195,388	9,082	205,763	△48,281	543	△47,737	158,026
当期末残高	302,000	244,783	1,452,275	△13,063	1,985,994	44,944	25,659	70,603	2,056,598

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	302,000	244,783	1,452,275	△13,063	1,985,994	44,944	25,659	70,603	2,056,598
当期変動額									
剰余金の配当			△57,902		△57,902				△57,902
親会社株主に帰属する 当期純利益			186,976		186,976				186,976
自己株式の取得				△38,000	△38,000				△38,000
自己株式の処分		946		8,956	9,902				9,902
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						3,059	16,923	19,982	19,982
当期変動額合計	—	946	129,073	△29,043	100,976	3,059	16,923	19,982	120,959
当期末残高	302,000	245,729	1,581,348	△42,107	2,086,971	48,003	42,582	90,586	2,177,557

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	372,040	295,721
減価償却費	31,229	28,424
固定資産処分損益 (△は益)	—	15,383
のれん償却額	30,597	30,597
長期未払金の増減額 (△は減少)	△9,892	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,844	△47,667
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	923	△59,025
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,819	384
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△944	762
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	2,932	△2,932
受取利息及び受取配当金	△7,188	△5,500
支払利息	5,135	8,104
有価証券売却損益 (△は益)	△72,119	△956
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△563
有形固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	105,827	△178,296
棚卸資産の増減額 (△は増加)	60,048	15,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	△84,757	29,360
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,869	△19,310
その他	26,595	61,301
小計	475,222	171,351
利息及び配当金の受取額	7,187	5,432
利息の支払額	△5,076	△8,227
法人税等の支払額	△152,372	△146,714
法人税等の還付額	—	248
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,961	22,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△482,520	△429,521
定期預金の払戻による収入	447,533	482,520
有形固定資産の取得による支出	△6,476	△10,884
有形固定資産の売却による収入	—	563
投資有価証券の取得による支出	△24,662	△13,360
投資有価証券の売却による収入	111,093	13,197
会員権の取得による支出	—	△3,864
貸付けによる支出	△615	△2,145
貸付金の回収による収入	1,070	2,741
差入保証金の差入による支出	△3,723	△3,159
差入保証金の回収による収入	1,266	8,033
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△22,058
その他	96	596
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,061	22,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	19,200
長期借入れによる収入	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△206,369	△165,294
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,735	△2,081
自己株式の取得による支出	—	△38,000
配当金の支払額	△49,264	△57,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,369	△163,854
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	210,654	△119,107
現金及び現金同等物の期首残高	1,241,055	1,451,710
現金及び現金同等物の期末残高	1,451,710	1,332,602

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下、「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。当社はサービスの系列及び市場の類似性を考慮して「建物総合管理サービス事業」、「人材サービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「建物総合管理サービス事業」は警備保障、清掃、設備管理、オフィスサービスをしており、「人材サービス事業」は情報管理、ファイリング、機器操作等の人材派遣業務、有料職業紹介業務をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額 (注) 2
	建物総合管理サ ービス事業	人材サービス事 業	計		
売上高					
年間契約	4,267,820	358,167	4,625,988	—	4,625,988
臨時契約	2,911,314	559,591	3,470,905	—	3,470,905
顧客との契約から生じる収益	7,179,135	917,759	8,096,894	—	8,096,894
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,179,135	917,759	8,096,894	—	8,096,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,179,135	917,759	8,096,894	—	8,096,894
セグメント利益	672,302	35,827	708,130	△424,098	284,031
セグメント資産	2,270,279	295,291	2,565,571	1,635,203	4,200,774
その他の項目					
減価償却費	22,694	4,026	26,721	5,763	32,485
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,522	2,858	6,380	95	6,476

(注) 1. (1) セグメント利益の調整額△424,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主な内容は、報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部門等の管理部門にかかる費用であります。

(2) セグメント資産の調整額1,635,203千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主な内容は、報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額 (注) 2
	建物総合管理サ ービス事業	人材サービス事 業	計		
売上高					
年間契約	4,357,635	268,977	4,626,613	—	4,626,613
臨時契約	2,521,303	1,696,860	4,218,163	—	4,218,163
顧客との契約から生じる収益	6,878,939	1,965,837	8,844,777	—	8,844,777
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,878,939	1,965,837	8,844,777	—	8,844,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,878,939	1,965,837	8,844,777	—	8,844,777
セグメント利益	626,143	118,655	744,798	△443,688	301,110
セグメント資産	2,339,731	185,437	2,525,168	1,642,835	4,168,004
その他の項目					
減価償却費	18,427	3,691	22,118	6,306	28,424
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	9,509	1,325	10,834	50	10,884

(注) 1. (1) セグメント利益の調整額△443,688千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主な内容は、報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部門等の管理部門にかかる費用であります。

(2) セグメント資産の調整額1,642,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主な内容は、報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社サンシャインシティ	1,146,696	建物総合管理サービス事業及び 人材サービス事業

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社サンシャインシティ	1,278,175	建物総合管理サービス事業及び 人材サービス事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	建物総合管理 サービス事業	人材サービス事業	全社・消去	合計
当期償却額	30,597	—	—	30,597
当期末残高	122,391	—	—	122,391

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	建物総合管理 サービス事業	人材サービス事業	全社・消去	合計
当期償却額	30,597	—	—	30,597
当期末残高	115,386	—	—	115,386

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

【のれんの金額の重要な変動】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

「建物総合管理サービス事業」セグメントにおいて、当連結会計年度から株式会社クリーンフォースを連結の範囲に含めております。これは、当連結会計年度中に当社が新たに株式会社クリーンフォースの全株式を取得したことによるものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	704円 84銭	763円 24銭
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	2,056,598	2,177,557
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,056,598	2,177,557
普通株式の発行済株式数(株)	2,940,000	2,940,000
普通株式の自己株式数(数)	22,186	86,974
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,917,814	2,853,026

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益金額	84円 05銭	64円 97銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	244,837	186,976
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	244,837	186,976
普通株式の期中平均株式数(株)	2,912,840	2,877,780

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。